学校だより　No. １５

ここが大好き

【学校教育目標】
夢にむかって 今 キラリ
－なかよく・かしこく・すこやかに－
令和８年７月１０日
大仙市立南外小学校

小中連携の取組
あいさつ運動

今年度第１回目の「小中あいさつ運動」が７日（火）に行われました。中学校からは生徒会執行部の生徒が、小学校からは運営委員会の児童が参加し、元気にあいさつをしました。今年は保護司女性の会の皆さんや民生委員の方々などがおいでになり、子どもたちと一緒に活動してくださいました。

あいさつは本校で大きな課題です。今年度は学教教育目標の「なかよく」の目標に、元気なあいさつを掲げています。また、児童会でも校内であいさつ運動をしたり、全校に呼びかけたりして活動しています。小中連携のこのような活動が子どもたちにとってよい刺激となり、学校にもそして地域にも元気なあいさつが広がっていくことを願っています。私たち職員も、自らが手本として、その姿で示していきたいと思っています。

５年　交流学習
～藤木小学校の５年生と一緒に～

２日（木）に５年生の交流学習が行われ、藤木小学校の５年生と外国語の学習に取り組みました。久しぶりの再会で少し緊張気味でしたが、一緒に英語を唱えたり、英語のゲームをしたりして、コミュニケーションをとりながら、楽しみました。次回は相手校で交流学習を行う予定です。

指導主事計画訪問より
～2年・6年　算数の学習～

６日（月）、２年生と６年生を対象とした算数の指導主事計画訪問が行われました。２年生は「水のかさをはかってあらわそう」の学習を行い、リットルやデシリットルの習得につながる「水のかさくらべ」に取り組みました。ペットボトルの色水をコップやカップに移して、比較したり、グループの結果をみんなで見合ったりしながら、興味をもち続けて学習を進めました。

６ 年生は「割合の表し方を調べよう」の学習に取り組みました。等しい比どうしはどんな関係になっているのか、自力解決後にグループ学習を行い、考えを出し合って答えを導き出していきました。２ 年生も ６ 年生も、課題解決のためによく考え、意欲的に学ぶ姿が見られました。

４年　フィールドワーク
ごみ処理センター・はなびアム

９日（木）、４年生が社会科の学習の一環として、大曲仙北中央ごみ処理センターと花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」に出かけました。ゴミ処理センターではごみピットの様子をじっくり見たり、焼却の話などを真剣に聞いたりして、教科書に載っている文や写真について、実際に自分の目で見て、学習を深めました。また、「はなび・アム」では花火ができるまでの行程や、大曲の花火の歴史などに興味をもって見学することができました。